

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19027-1	施設整備費(中学校費)	室名	教育総務室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	02:教育環境づくりの推進	科	項 中学校費
戦略プロジェクト		目	目 学校管理費	

② 目的・概要	対象	中学生及び中学校利用者
	目的	学習環境及び学校生活環境の向上を図るため、学校施設の整備を実施することにより教育のための環境づくりを推進する。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 名称 工事、委託業務	計画値		
		補足	実績値	15	13
			単位	件	件
	成果	① 名称	計画値		
		補足	実績値		
			単位		

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					工事設計監理業務委託等 ・各小中学校体育館トイレ改修工事設計監理業務  工事 ・中部中学校校舎内部改修工事 他10件			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	1,110	平均給与額×③
		事業費		18,260	18,239	一般職員人件費 ②	1,110	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.15	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		18,260	18,239			
	再掲	翌年度への繰越額			総人件費 ①	1,110		
		前年度からの繰越額			総コスト ⑥	19,349		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	施設の老朽化した箇所や危険箇所について整備を行い、教育環境づくりの推進を図ることができた。また、体育館トイレの改修により、施設のバリアフリー化を進めた。	総合判定
			A

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	各施設において、施設の規模や程度に違いがあるが、学校施設全体として継続的に整備の必要箇所が発生している。
	【改善の方向性】	建物の外部及び内部改修等、多額の予算を必要とするものについては、計画的に整備を進めていく。また、大規模な改修については、国等の補助制度の活用を検討する。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 教育総務室長 原田 和伸
--------------	---------	-----------------------